

■目標指標

基本目標	目標指標	現状値		最終目標値	目標値	実績値	目標値	実績値
		令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和8年度 (2026年度)	令和4年度 (2022年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和5年度 (2023年度)
「人と地域がきらめく 文化の薫るまち」	1年間に1回以上文化を鑑賞したことがある市民の割合	76.8%	49.8%	80.0%	70.0%	69.8%	73.0%	82.3%
	1年間に1回以上文化活動を行ったことがある市民の割合	27.7%	22.0%	33.0%	25.0%	33.8%	27.0%	29.0%
	鑑賞、活動があると回答した市民のうち、その場が宇部市内等である割合	—	—	85.0%	65.0%	74.4%	70.0%	75.3%

■活動指標

施策	活動指標	現状値		最終目標値	目標値	実績値	目標値	実績値
		令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和8年度 (2026年度)	令和4年度 (2022年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和5年度 (2023年度)
施策 1 文化活動の活性化	記念会館・文化会館延べ来場者数	144,808人	42,779人	167,000人	94,000人	102,186人	112,000人	93,136人
	芸術祭延べ参加者数(出演者及び出品者)	2,374人	754人	3,000人	1,600人	1,448人	1,950人	1,965人
	芸術祭鑑賞者数(入場者及び観覧者)	25,961人	3,123人	30,000人	15,000人	8,227人	18,750人	8,600人
	アートコミュニケーター活動者数(累計)	—	33人	80人	40人	59人	50人	79人
	アートマネージャー活動者数(累計)	42人	52人	100人	60人	57人	70人	63人
施策 2 「UBEビエンナーレ」からひろがる “まち・ひと・アート”	「UBEビエンナーレ」に対する市民の理解度	—	73.0% (R3数値)	80.0%	75.0%	78.5%	76.0%	83.9%
	彫刻教育実施回数	—	30回 (R3数値)	40回	32回	43回	34回	47回
施策 3 文化施設の整備・充実	文化会館の耐震及び長寿命化改修	—	改修設計(一部完了) (R3現状)	改修完了	改修実施設計	業務委託契約締結 (長寿命化)	改修工事	改修工事
	渡辺翁記念会館の保存活用計画の策定	—	未着手 (R3現状)	策定に伴う 空調改修	補助金申請	補助金申請	計画中間報告	計画中間報告
施策 4 文化財の保存・活用	文化財を活用したイベント等の参加者数	—	13,000人 (R3数値)	15,500人	13,500人	16,000人	14,000人	16,000人

施策 1 文化活動の活性化

施策 1-(1) 文化活動の推進

Nº	主な取組	2023年度 取組実績	2024年度 取組計画
1	宇部文化連盟との協働による宇部市芸術祭を開催することにより、市民の文化活動の発表の場を確保します。	宇部市文化創造財団と宇部文化連盟の共同主催により実施した。(9/3～12/17) ●展示8部門(出品者572人, 入場者4,932人) ●舞台7部門(出演者609人, 入場者2,561人) ●文芸1部門(出品者620人, 入場者160人) ●総合1部門(出演者164人, 入場者947人)	宇部市文化創造財団と宇部文化連盟の共同主催により実施する。(9/1～12/22) ●展示6部門 ●舞台7部門 ●文芸1部門 ●総合1部門
2	宇部市文化創造財団等との連携により、音楽公演をはじめとした良質な公演等の文化事業を開催します。	■宇部市文化創造財団の主催事業 ●舞台5公演 (垣根の魔女, 工藤静香, 第九演奏会, ブーニン, 新川寄席) (集客率76.0%(来場者5,085人/6,692席)) ●展示会1開催(宇部市所蔵作品展)(入場者1,240人) ■宇部市文化創造財団の共催事業 ●舞台5公演 (蝶花楼桃花, 上野の森プラス, 古澤巖, ジブリ, 組曲「UBE」) (集客率38.6%(来場者2,063人/5,351席))	著名なアーティストなどを招聘し、年代や属性(性別、障害の有無など)に関わらず全ての人を楽しめるステージイベント等を宇部市文化創造財団が実施する。 ●ステージ公演 8本 (MIYAtoAGA-SHIO、宇崎竜童、小原孝・金子美香、第九演奏会、HY ほか) ●市内文化団体等との共催による公演 3本 (阪田知樹、HIMARI & 吉田恭子、交響曲のあるまち)
3	文化行事への後援などを通じて団体等が実施する文化活動を支援するとともに、各助成財団等の助成金情報など提供します。	宇部市文化創造財団への補助を通じて以下の助成事業を実施した。 ●若手音楽家育成事業 ①厚狭地区吹奏楽連盟演奏会等, ②宇部ジュニアアンサンブル ●市民文化活動支援事業 ①クラシック・サロン《ヒストリア音楽塾》, ②宇部華友会発表会, ③宇部市民オーケストラ演奏会, ④宇部吹奏楽団演奏会, ⑤子どものためのコンサート, ⑥キモノやんコンサート, ⑦宇部三曲連盟邦楽演奏会, ⑧和音発表会	宇部市文化創造財団への補助を通じて以下の助成事業を実施する。 ●市民文化活動助成事業(若手音楽家育成事業・市民文化活動支援事業を統合) 財団が定める要件を満たす事業を実施する団体に対し助成金の交付やチケット販売・広報の支援を行う。
4	アーティストの滞在型創作活動(アーティスト・イン・レジデンス)を推進し、市民とアーティストとの交流を促進します。	実施なし。	UBEビエンナーレ彫刻の丘において、第30回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)実物制作指定作品の搬入や現地制作を公開するなど、市民が作家を身近に感じられる場を提供する。
5	在留外国人などに対し、文化事業の鑑賞や体験の機会を提供し、多文化共生の取組を推進します。	宇部市文化創造財団自主文化事業の落語公演に市内在留外国人を招待し、落語の楽しみ方をレクチャーした。	宇部市文化創造財団において、引き続き多文化共生事業の取り組みを実施する。
6	関係機関と連携し、渡辺翁記念会館や都市型ホテルを会場とした大型の文化事業やコンベンションなどを誘致します。	宇部観光コンベンション協会と連携し、コンベンション誘致活動を実施した。 ●文化会館: 日本結晶学会令和5年(2023年)度年会 1件 ●ANAクラウンプラザホテル: 第18回日本C A O S学会等 3件	コンベンション開催助成金の額を拡充し、引き続き宇部観光コンベンション協会と連携したコンベンション誘致に取り組んでいく。

7	市内の文化団体・活動者の協力を得ながら、子どもたちが伝統文化等を体験できる機会として「子ども文化夢教室」を各小学校で開催します。	伝統文化に関する「子ども文化夢教室」を6校で実施した。 ●日本舞踊：2校(73人) ●俳句：4校(155人)	伝統文化に関する「子ども文化夢教室」を実施し、子どもたちが日舞や俳句などの伝統文化を体験できる機会を提供する。 (日本舞踊、俳句)
8	小・中学生の文化体験活動の一環として、市内外の専門家から直接指導を受けるワークショップ型の教室を開催します。	■伝統文化以外の「子ども文化夢教室」を6校で実施した。 ●ダンス：5校(148人) ●声楽・ピアノ：1校(63人) ■小中学生箏曲振興事業を実施した。(12人)	宇部市文化創造財団への補助を通じて以下の事業を実施する。 ●子ども文化夢教室(伝統文化以外) 市内小学校で声楽・ダンスの指導者によるワークショップ型の文化教室を実施する。(ミュージカル、ダンス、声楽・ピアノ) ●子ども夢チャレンジ 市内の中学生を対象に、活躍するアーティストを招いて講演やコンサート等を開催する。 ●子ども伝統文化わくわく体験学校 実施団体と参加者を募集し、伝統文化の「わくわく体験学校」を実施するとともに、学んだ成果の発表会を実施する。 (華道、詩吟、日本舞踊、箏曲、囲碁)
9	障害のあるなしに関わらず参加や鑑賞ができる文化事業を企画・開催します。	■障害者の鑑賞支援のため、宇部市文化創造財団において、主催・共催事業の介助者無料チケットを配付するとともに、イベントガイドの点訳を実施した。 ■アーティストやアートを鑑賞することにアプローチした映像作品の上映会「映画で見るアート」(10/6～12/3)で、音声解説付きの作品を上映した。	■障害者の鑑賞支援のため、宇部市文化創造財団において、主催・共催事業の介助者無料チケットを配付するとともに、イベントガイドの点訳を引き続き実施する。 ■「夏の美術室2024」(7/19～8/25)で、障がいのある方とご家族・介助者限定利用デー「ドリームデイ」を実施する。
10	経済的に不安を抱える世帯の子どもたちなどを対象に、文化事業に触れる機会を創出する「社会包摂事業」を実施します。	■宇部市文化創造財団において「私のあしながおじさんプロジェクト2023in宇部」として、子ども課外クラブ(ピアノ・ダンス・琴)を実施した。 ●ピアノ：10人 ●ダンス：19人 ●琴：14人 ■宇部市文化創造財団において、舞台公演「垣根の魔女」に小・中・高校生の親子55組を招待した。	宇部市文化創造財団が行う「私のあしながおじさんプロジェクト」として、舞台芸術鑑賞への招待や、子ども課外クラブを実施する。 (ピアノ、ダンス、琴)
11	音響や映像・舞台芸術などに携わる市内事業者等と連携して、音楽公演などを積極的に開催することで、地元の文化関連産業を支援します。	宇部市文化創造財団の自主運営事業のうち1事業について、市内音響事業者等に委託して実施し、地元関連産業を支援した。	宇部市文化創造財団自主事業の中で可能なものについては市内音響事業者等と連携して実施し、地元関連産業を支援する。
12	ポストコロナ社会における「新たな日常」への対応のため、オンライン配信や文化事業における非接触化などを支援します。	宇部市文化創造財団において、オンライン配信を希望する主催者へ技術的な支援を行った。	宇部市文化創造財団において、オンライン配信を希望する主催者へ技術的な支援を行う。
13	本市にゆかりある映画監督やアーティストによる、映画・アニメーション・音楽などの文化を市内外にPRするとともに、次世代に引き継ぎます。	■令和5年10月から令和6年1月にかけて、本市出身の庵野秀明氏が総監督を務めた作品「エヴァンゲリオン」シリーズとコラボレーションした企画「まちじゅうエヴァンゲリオン」第3弾を実施した。 ■庵野秀明氏の監督作品「シン・仮面ライダー」のパネル展やロケ地ツアー、企画展を実施した。 ■「アニメ・特撮文化魅力発信事業」として、アニメ関係者による講演会やワークショップを開催した。	「まちじゅうエヴァンゲリオン」の第4弾を展開し、本市にゆかりのアニメ等を通じた観光誘客促進や地域経済活性化を図っていく。

施策 1-(2) 文化・アート人材の育成

No	主な取組	2023年度 取組実績	2024年度 取組計画
14	人・アート・場所をつなぎ、新しい価値と創造的なコミュニティによるまちの発展に向け、アートコミュニケーター（うーぱー）の育成とアート活動を支援します。	シンポジウムを開催するとともに実践活動の支援を行った。 ●アートコミュニケーター（累計：20人） ●シンポジウム：1回（58人） ●実践活動の支援：6回	野外彫刻などの文化資源を活用した実践活動を支援する。
15	うーぱー（3年任期）修了生が、それぞれの地域や職場・団体などで、自主的にアートによるコミュニティ活動を行うことを支援します。	第29回UBEビエンナーレ関連イベントとして、宇部市ふるさとコンパニオンの会と連携して彫刻への理解を深めることを目的とした、対話型鑑賞のワークショップ開催等、自主的な活動を支援した。	引き続きアートを介した実践活動を支援する。
16	うーぱー及び修了生の活動拠点の設置を支援します。	活動拠点を文化会館に設置。同館休館後は宇部市文化創造財団事務所を活動拠点とした。	引き続き活動拠点を宇部市文化創造財団事務所に設置する。
17	茶華道・書道・短歌・俳句・俳画・絵画・演劇・日本舞踊などの伝統文化に携わる後継者の発掘・育成を支援します。	■「子ども文化夢教室」において日本舞踊・俳句の講座を実施 ■「小中学生箏曲振興事業」においてワークショップや演奏発表の場を創設	箏曲振興事業として小中学生を対象としたワークショップや演奏会を実施するとともに、子ども文化夢教室や子ども伝統文化わくわく体験学校、子ども課外クラブで伝統文化の講座を実施する。 ●UBE箏キッズ：イベント参加（5月：1回、6月：1回）
18	文化活動団体や宇部市文化創造財団と連携して、アートマネージャー養成講座を開催し、文化と市民・社会をつなぐアートマネジメントを実践できる人材を育成します。	人と人、人と文化、人と地域をつなぐアートマネジメントを実践していくことのできる人材を養成するため、座学と実技の講座を開催した。 ●ワークショップリーダー養成講座：11人	人と人、人と文化、人と地域をつなぐアートマネジメントを実践していくことのできる人材を養成する講座を開催する。
19	アートマネージャーが主体となった、文化事業の開催を支援します。	養成講座卒業生による「児童・生徒のためのコミュニケーションワークショップ」の活動を支援した。 ●山口南総合支援学校 ●うべくるみ園 ●恩田小学校学童クラブ	養成講座卒業生によるコミュニケーションワークショップ開催を支援する。 ●宇部西高等学校：就職のためのコミュニケーションワークショップ ほか

施策2 「UBEビエンナーレ」からひろがる“まち・ひと・アート”の推進

施策2-(1) UBEビエンナーレの推進

Nº	主な取組	2023年度 取組実績	2024年度 取組計画
20	「UBEビエンナーレ」をこれからも継続的に開催していくため、彫刻だけでなく多様なアートにも触れる機会の創出を図ります。	ときわ湖水ホールアートギャラリーで多様なアートの企画展を開催した。 ●7/21～8/27「夏の美術室2023」 アニメーションなど県内外で活躍するエドゥケーターによるワークショップ ●10/6～12/3「映画で見るアート」 アーティストやアート鑑賞にアプローチした映像作品の上映会 ●2/9～3/17「栗津潔展」 UBEビエンナーレのポスターや図録のデザイン企画展	ときわ湖水ホールアートギャラリーで多様なアートの企画展を開催する。 ●7/19～8/25「夏の美術室2024」 「素材とかたち からだであそぼう」をテーマに様々なWSを開催する。 ●冬にときわ湖水ホールアートギャラリーで馬場良治作品展を開催する。
21	市民と協働したアートイベントの拡充を図り、市民とともに作るビエンナーレを目指します。	アートコミュニケーター「うーぱー」と協働したアートイベントを開催した。 ●7/30「桃色レンガでアーティストたいけん！」子供向け作品制作WS ●10/1「彫刻オープンマイクDay！」マイクの前で自由に自己表現 ●3/9「栗津潔展みんなと味わうツアー」対話型鑑賞WS	アートコミュニケーター「うーぱー」と協働したアートイベントを開催する。 ●7/28「彫刻としゃべろう！」夏の美術室。彫刻と自由な表現活動。 ●募集期間9/1～9/30「描いちゃお！うべの彫刻2024」 お気に入りの作品を描いて応募。10/27のUBEビエンナーレ開会式で表彰式を実施する。
22	「UBEビエンナーレ」の会場については、ときわ公園だけでなく、中心市街地等での開催も検討します。	協議検討の結果、「UBEビエンナーレ」の会場は継続的にときわ公園彫刻の丘にすることとした。	取り組みなし
23	「UBEビエンナーレ」をより一層市民に親しみを感じてもらえるよう、入賞作家によるワークショップや作品展開催など、作家との連携を強化し、市民と作家との交流の場を創出します。	UBEビエンナーレ出品作家を彫刻教育の講師として依頼した。 ●見初小5・6年生(岡田健太郎) ●上宇部中1年生(上田要)	■第29回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)柳原義達賞受賞記念展をときわ湖水ホールアートギャラリーで開催した。 ●4/12～5/26「藤沢恵 melting border」 ■UBEビエンナーレ出品作家を企画展WSや彫刻教育の講師として依頼する。
24	アートによるまちづくり“発祥の地”としての歴史や彫刻の魅力の発信、UBEビエンナーレゆかりの作家とその作品に関する調査・研究及びアーカイブの充実など、内外に向けた情報発信を強化してビエンナーレの価値を高めます。	■本市に設置されていない過去のUBEビエンナーレ作品の情報を整理し、データベースに追加した。 ■UBEビエンナーレの歴史についてギネス世界記録®に申請をし、「最も長く続いている野外彫刻展」として認定を受けた。	■本市が所蔵している彫刻関連の書籍を整理し、データベース化する。 全ては完了していないので、引き続きデータベース化作業を継続する。
25	PRブースの設置や広報媒体への相互の情報掲載など、全国的に評価の高い他の芸術祭や文化施設等と連携を強化します。	九州国立博物館においてPR展を開催した。(2/23～2/25)	瀬戸内国際芸術祭会場でのPRブースの設置並びに大分アジア彫刻展との相互広報活動を実施する。

施策 2-(2) 彫刻企画展等の開催

Nº	主な取組	2023年度 取組実績	2024年度 取組計画
26	柳原義達・向井良吉作品をはじめとする屋内コレクションを常設展示するとともに、市所蔵作品の定期的な企画展も開催し、市民がアートに触れる機会を創出します。	ときわ湖水ホールアートギャラリーでUBEビエンナーレの草創期に関連作品や写真で振り返る企画展を開催した。 ●4/1～6/18「Why彫刻？－UBEビエンナーレ再発見！－」	宇部市が所蔵する屋内コレクション展を開催する。 ●10/18～12/15「彫刻世界 かたち・つくり・ひらく」
27	ものづくり体験のワークショップを対面だけでなく、オンライン配信による作家との交流など、ポストコロナ社会における「新たな日常」に対応しながら開催します。	彫刻教育で、作家とオンライン授業を実施した。	引き続き、作家とのオンライン授業による彫刻教育を行う。
28	貴重な市所蔵作品等を適切に保管していくために、収蔵庫等の環境整備を行います。	収蔵庫に保管している市所蔵作品の点検を実施した。	引き続き、収蔵庫内の作品の点検を行う。

施策 2-(3) 彫刻とアートの教育の推進

Nº	主な取組	2023年度 取組実績	2024年度 取組計画
29	自分たちの身近にある彫刻をそれぞれの心で楽しみながら、まちに対する誇りや郷土愛を醸成するとともに、アートを介して、観察力、思考力、他者を理解する心を育み、主体的で豊かなコミュニケーションを生む彫刻とアート教育の充実を図ります。	■UBEビエンナーレ彫刻の丘において、市内すべての小学校4年生を対象に野外彫刻鑑賞授業(子どもたち自身で彫刻を発見し、彫刻に触れることで生まれる感覚を言葉にして共有する鑑賞プログラム)を実施した。	引き続き、UBEビエンナーレ彫刻の丘において、市内すべての小学校4年生を対象に野外彫刻鑑賞授業を実施する。
30	小中学生を対象とした彫刻及び模型鑑賞授業や作家との交流によるワークショップ等の実施に加え、ポストコロナ社会における「新たな日常」に対応したICT教育の環境等を活用する彫刻教育を推進します。	■UBEビエンナーレ出品作家を彫刻教育の講師として依頼した。 ●見初小5・6年生(岡田健太郎) ●上宇部中1年生(上田要) ■彫刻教育で、作家とオンライン授業を実施した。	引き続き、オンラインを活用した彫刻教育、UBEビエンナーレ作家による対面での彫刻授業などに取り組む。
31	地域や団体、大学等での講座開催など、多世代や様々な条件を持つ人たちにも対応しながら彫刻教育の普及促進を図り、生涯学習等にもつなげます。	山口大学、女子美術大学、広島市立大学、金沢美術工芸大学で講義を実施した。	■女子美術大学の実習授業や、大学で彫刻に関する講義を実施する。 ■夏の美術室2024期間中、彫刻教育の紹介パネル展示を実施する。 ■インクルーシブの視点から、障がい者やベビーカー、外国人など、多様な人々が楽しめる鑑賞プログラムを実施する。

施策 2-(4) 彫刻によるまちづくりの推進

Nº	主な取組	2023年度 取組実績	2024年度 取組計画
32	「緑と花と彫刻のまち」にふさわしい、環境との調和や景観にマッチした作品を選定するとともに、誰もが親しみやすく鑑賞できるような作品配置を行います。	展示委員会を開催し、地区要望と第29回展作品とのマッチングを実施した。	地区要望による2点の彫刻移設を実施する。 ●黒石地区(黒石公園) ●小羽山地区(小羽山小学校)
33	彫刻を活かした質の高いまちづくりを推進するため、新庁舎周辺については、宇部市のまちづくりの歴史や特徴を表現できるようなストーリー性のある彫刻の再配置を行います。	新庁舎周辺の彫刻の再配置について、展示委員及び新庁舎建設課と協議を進めた。	引き続き、新庁舎周辺の彫刻再配置を協議し、第2期庁舎工事の進捗状況に応じて設置工事を実施する。
34	市民が安心して安全に野外彫刻作品を鑑賞できるよう、市内に設置されている約200点の作品を定期的に巡回点検し、メンテナンス等の維持管理を行いながら、居心地の良い魅力ある都市空間の形成を図ります。	■所蔵している全作品の彫刻点検を実施し、15点の修復と3点の撤去、2点の内部構造検査を実施した。 ■ブロンズ作品16点の表面保護材塗布作業を実施した。 ■スチール作品1点の基礎部の防食を実施した。	■地区要望彫刻移設に伴う修復を1点実施する。 ■来年度修復予定の2点の詳細な調査設計を実施する。 ■腐食が進んでいるスチール作品3点について修復方法を検討する。 ■彫刻の丘の作品2点のメンテナンスを実施する。(作家来宇予定)

施策3

文化施設の整備・充実

施策3-(1) 渡辺翁記念会館・文化会館の整備等

Nº	主な取組	2023年度 取組実績	2024年度 取組計画
35	文化会館の耐震改修及び空調設備改修等の大規模修繕を実施します。	■関係者と協議し、外壁・防水設備改修工事の基本・実施設計を行い、工事に着手した。 ■関係者と協議し、特定天井他改修工事の基本・実施設計を行った。	■外壁・防水設備改修工事を施工する。（令和7年1月に完了予定） ■10月に特定天井他改修工事に着手予定としている。
36	文化会館の大規模修繕に合わせて、施設・設備の長寿命化改修を実施します。	■関係者と協議し、外壁・防水設備改修工事の基本・実施設計を行い、工事に着手した。 ■関係者と協議し、特定天井他改修工事の基本・実施設計を行った。	■外壁・防水設備改修工事を施工する。（令和7年1月に完了予定） ■10月に特定天井他改修工事に着手予定としている。
37	渡辺翁記念会館の耐震改修及び空調設備改修等の大規模修繕の検討を行うため、文化庁と協議しながら「保存活用計画」を策定します。	「宇部市渡辺翁記念会館保存活用計画検討委員会」を設置し、会議(検討委員会)を2回開催した。 ■第1回 11/2 計画策定の目的とその内容、範囲ほか ■第2回 2/2 評価基準設定の方針と部分・部位の基準設定(案)ほか	会議(検討委員会)を3回(6月・10月・1月)開催し、令和7年2月に文化庁へ申請予定としている。
38	駐車場不足のため、民間の駐車場の活用やJR宇部線・市営バス等公共交通機関の利便性向上のため交通事業者等と連携したイベントを開催します。	■駐車場満車時に、周辺の民間駐車場の情報を提供した。	■駐車場満車時に、周辺の民間駐車場の情報を提供する。

施策 4 文化財の保存・活用

施策 4 -(1) 文化財の保存・活用の推進

Nº	主な取組	2023年度 取組実績	2024年度 取組計画
39	文化財愛護活動を推進するため、文化財所有者及び文化財愛護団体を支援するとともに、文化財の周辺環境整備を実施します。	■文化財管理者及び文化財愛護団体へ補助金を交付(5団体)。 ■史跡等20か所の環境整備を地域団体や郷土史研究団体等へ委託。	■文化財管理者及び文化財愛護団体へ補助金交付を予定している。 ■史跡等21か所の環境整備を地域団体や郷土史研究団体等へ委託する。
40	地域団体や郷土史研究団体等と連携し、地域の大切な文化遺産として次世代へ継承するため各地域の未指定文化財の計画的調査と、文化財の指定・登録化を推進します。	未指定文化財所有者へ指定に向けた意向確認を実施した。	指定・登録すべき文化財について地域団体や郷土史研究団体等からも意見聴取し、必要に応じて所有者の意向確認と調査を実施する。
41	文化財の保存活用を目途とした広報活動を推進します。	市ウェブサイト内の「文化財ライブラリ」で指定・登録文化財の詳細な情報を公開することで、文化財に関する正しい知識が周知されるよう広報した。	「文化財ライブラリ」の内容に古いものがないか確認・更新することで、文化財に関する正しい知識が周知されるよう広報する。
42	本市の歴史や文化へのより一層の興味・関心を高め、貴重な地域資源である文化財史料の活用を図るため、市民団体との共同、連携により、文化財展等を開催し、文化財への愛着心を育成します。	市民との連携による企画展やイベントを行った。その他、文化財防火デーの消防訓練を文化財所有者や地元住民の協力を受けて開催した。	市民との連携による企画展の開催を予定している。また、文化財防火デーの消防訓練を文化財所有者及び開催地域の地元住民等と協力して実施する予定としている。
43	「宇部市デジタルミュージアム」を周知するとともに、活用を促進します。	■学校の授業などで「宇部市デジタルミュージアム」を紹介した。 ■年間を通して館内モニターで紹介動画を上映した。	■学校の授業などでデジタルミュージアムを紹介する。 ■年間を通して館内モニターで紹介動画を上映する。
44	宇部南蛮音頭保存会との連携を強化し、南蛮音頭の普及と継承を進めます。	■南蛮音頭保存会と連携し、第72回宇部まつりに出演。 ■ステージで宇部南蛮音頭、宇部石炭まつりを演奏し普及に努めた。	宇部南蛮音頭保存会の構成団体である地方会、百扇会と連携し、宇部南蛮音頭を披露する機会を増やし、普及に努める。

施策 4 -(2) 宇部市史の編さん

Nº	主な取組	2023年度 取組実績	2024年度 取組計画
45	現在、発行している宇部市史について、昭和61年（1986年）以降の本市の歴史を追補し、市史の編さんを行うとともに、市史のデジタル化に取り組みます。	市史編さん委員会を3回開催するとともに、調査や執筆等を行う専門部会を立ち上げ、編さんの方法や資料収集・調査等の進め方について検討した。	各専門部会で資料収集や調査研究等を進め、市史編さん委員会で編さんの進捗管理を行う。
46	デジタル化した市史を「宇部市デジタルミュージアム」に掲載し、後世への記録の継承及び掲載内容の検索や閲覧を容易に行えるようにします。	これまでの市史を補完する形で、市史のデジタル化を図るため、市史のコンテンツとして掲載する資料の調査を行い、画像や目録の整理を行った。	引き続き市史編さんの事業に協力して、デジタルコンテンツの素材となる市史掲載の資料調査を行っていく。
47	宇部市100年の歴史を振り返る絵本を作成し、幅広い世代に宇部市の歴史に親しんでもらうことにより、シビックプライドを醸成する教育を推進します。	絵本制作委員会を3回開催するとともに、プロポーザルにより、制作者を決定。委員会で作業スケジュールの確認やシナリオ案を検討した。	シナリオに沿った絵コンテを作成し、委員会等で内容について確認をしながら、今年度末の絵本完成を目指す。